



2010年理系(甲)第1問

- 1 1から5までの自然数を1列に並べる. どの並べかたも同様の確からしさで起こるものとする. このとき1番目と2番目と3番目の数の和と, 3番目と4番目と5番目の数の和が等しくなる確率を求めよ. ただし, 各並べかたにおいて, それぞれの数字は重複なく1度ずつ用いるものとする.